

令和元年度 事務事業評価シート

<b>事務事業名</b>		循環バスめぐりんの運行					所管	都市づくり部 交通対策課		
<b>事務事業の概要</b>	行政計画	事業NO.	205	計画事業名	公共交通の充実			事業の開始・終了年度		
	長期総合計画体系	[基本目標] 誰もが誇りや憧れを抱く安全安心で快適なまちの実現 [施策] 45 利用しやすい交通ネットワークの整備・充実					[事業開始] 平成13年度 [終了予定] - 年度			
	根拠法令等	その他	[法令等名]		台東区循環バスめぐりんの運行に関する協定					
	事業対象	直接の対象 : 一般区民及び来街者等 最終的な対象 : 同上								
	事業目的	区内公共交通不便地域の解消を図る。また、あらゆる人々の日常的な交通手段として、区内における自在な移動を支援し、街の活性化を促進する。								
	事業内容 [H30年度]	下記の5路線の循環バスを、バス運行会社との協定に基づき運行している。 ・北めぐりん(浅草回り)平成13年6月運行開始 一方向循環 一周約6.7km ・北めぐりん(根岸回り)平成13年6月運行開始 一方向循環 一周約6.5km ・南めぐりん 平成16年4月運行開始 一方向循環 一周約11.2km ・東西めぐりん 平成18年4月運行開始 一方向循環 一周約13.5km ・ぐるーりめぐりん 平成28年1月運行開始 一方向循環 一周約12km								
	委託の有無	一部委託	委託内容		運行委託					
	補助金の有無	なし								
<b>事務事業の実績</b>	種別	指標の名称	単位	R2年度	H28年度	H29年度	H30年度			
				目標値	実績	実績	実績	目標値	達成率	
	活動指標	1日あたりの運行本数(平日)	本	240	212	212	234	-	-	
	成果指標	年間乗客数	人	1,780,000	1,778,226	1,780,420	1,731,949	-	-	
	決算額 (単位:千円)				H28年度	H29年度	H30年度			
	事務事業コスト (単位:千円)	人にかかるコスト(人件費など)				14,267	9,218	14,106		
		物にかかるコスト(物件費・維持補修費)				18,827	59,994	12,570		
		その他のコスト(扶助費・補助費など)				214,772	172,110	277,952		
		総経費				247,866	241,322	304,628		
	財源項目 (単位:千円)	受益者負担額(使用料・手数料・負担金など)				0	0	7,015		
その他特定財源(国や都の支出金・財産収入など)				9,278	8,232	2,560				
一般財源(区負担額)				238,588	233,090	295,053				
課題及び今後の進め方	高齢者の増加や生活関連施設の変化など、区の交通を取り巻く環境が近年大きく変化している中、「めぐりん」に対する期待・要望は増大している。そこで、運行開始から10年以上が経過している「北、南、東西めぐりん」について、これまでの運行状況などを踏まえ、実証実験などを通じて運行見直しを進めていく。									
<b>評価の視点</b>	評価	評価の理由								
	必要性	3	都営バス等が運行していない幅員の狭い道路を運行することにより、移動が困難な高齢者や障害者等の貴重な交通手段となっている。また、来街者の区内回遊を支援しており、地域活性化などに貢献している。							
	効率性	3	運転士の確保が難しくなっているため、人件費関連の経費が増加しており、運行負担金は増加傾向にあるものの、安全運行の確保や運転士の接遇向上などにより、利用者の安定的な確保が図られている。							
	手段の適切性	4	路線の拡充とともに区の財政負担は増大しているが、民間企業に運行業務を委託することにより、民間企業の人材やノウハウを有効活用しながら、適正な運行を維持することができている。							
目的達成度	3	平成30年度は実証実験などの影響により乗客数はわずかに減少したものの、乗客数は堅調に推移しており、区民や来街者の移動支援や地域活性化などを図れている。								
[総合評価] ※上記4つの視点を踏まえ、事業全体を評価。区民生活への影響を十分考慮すること。						今後の方向性				
運転士確保や車両更新などにより区の財政負担が厳しい状況の中、乗客数は概ね堅調に推移している。一方、高齢化の進行や外国人観光客の増加などを踏まえ、高齢者の利便性向上や来街者の利用しやすい向上などが必要となっている。今後も、多くの人に「めぐりん」を利用してもらえよう、安全安心で快適な「めぐりん」を目指し、実証実験などを通じて交通ネットワークの更なる充実を図っていく。						改善		拡大 改善 維持 縮小 廃止・終了		